

# 第1外科学総論

## 【General Surgery】

担当責任者 教授（第1外科学） 平田 敬治

## ねらい

外傷や手術等の侵襲に際し、惹起されうる事態についての知識を習得する。さらに手術基本手技・輸液輸血・術前術後管理などの外科的治療法について基本的な知識・態度・技術について習得する。

## 学修目標

1. 医学全般および患者との係わりにおける外科を理解し、説明できる。(I-1, I-4, I-5)
2. 外科的侵襲と生体反応を説明できる。(II-1, II-3, II-5, II-7, II-10)
3. 創傷・外傷とその治療機序について説明できる。(II-1, II-3, II-5, II-7, II-10)
4. 外科感染症と治療について述べるができる。(II-1, II-5, II-7, II-10)
5. 輸液および栄養補給法の意義と実際について説明できる。(II-1, II-3, II-5, II-6, II-7)
6. 出血、止血、血液凝固、輸血の機序と実際について説明できる。(II-1, II-3, II-5, II-6, II-7, II-10)
7. 消毒・滅菌・手術基本手技について説明できる。(II-1, II-3, II-5, II-6, II-7, II-9, II-10)
8. 術前、術中、術後の管理と合併症について説明できる。(II-1, II-3, II-4, II-5, II-6, II-7, II-9, II-10)
9. 腫瘍の発生と進展の分子機序を理解し、説明できる。(II-1, II-2, II-3, II-4, II-5, II-6, II-7, II-9, II-10, II-11, V-2)
10. 臓器移植および人工臓器の理論と実践について説明できる。(II-1, II-3, II-4, II-5, II-6, II-7, II-10, II-11, V-2)

## 事前事後学習の方法

1. シラバスの記載項目について、事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義のテキスト、スライド内容ともに講義内容の復習をすること。

## 成績評価方法・基準

1. 講義後小テスト、出席状況を加味して、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A/B/C/D/Fの5段階評価とする。

## ○教科書

北野 正剛監修 「標準外科学」第15版 2019年 医学書院

## ○参考書

Townsent CM, et al Sabiston 「Textbook of Surgery」第19版 2012年 Saunders

講義:2208講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.12.3	金	5・6	輸血・止血障害	F	2,13	10/12	日暮 愛一郎(学外)
"	"	7・8	外科学の総論(講義中に小テスト)	A,D	1/7	1/-	平田 敬治
12.6	月	5・6	水・電解質と外科患者管理・輸液(講義中に小テスト)	"	"	5	田上 貴之
12.10	金	"	外科的感染症・感染対策 (※)	C,E	4/1	5/-	勝木 健文(学外)
"	"	7・8	創傷治癒・熱傷(講義中に小テスト)	C	4	5	鳥越 貴行
12.13	月	5・6	腹部ー基本外科処置/術前術後管理/外科合併症(講義中に小テスト)	"	3	3	柴尾 和徳
12.17	金	"	救急外科	F	2	8	伊藤 重彦(学外)
"	"	7・8	腹壁・腹膜(講義中に小テスト)	E	4	-	佐藤 永洋